

(上段十六行) 宝曆四年頃 から延享の初めま

(上段十七行) 宝曆五年 延享元年頃から

(中段五行) 砂 刈引

(下段二行) 付 右同断心得

年寄宛通知した。そして後から大坂屋半右衛門が帳物に付添い御免札及び役所副書を携行、帳物輸送の優先と確実さを要求した。なお駄賃については、安政四年の先觸れ文書の中に質高六疋(一疋〇二五文か)を明示、煎海鼠十二丸を輸送している。

四 数量

田辺領内の各浦で一体どれだけの煎海鼠が出ているのか。残念ながらまとまった仕切帳がないので確実な数字は不明であるが、明和元年三月(一七六四年)大坂屋半右衛門が長崎役人に答えた口上之覚に

「……当御領近浦廿ヶ年己未者余分出方も有之五千斤宛相集め候処拾ヶ年以未者年々不漁にて式千斤より三千斤の内相集申候」とあり、即ち享保の末頃から延享の初めまでは五千斤程度、延享元年頃から明和元年頃まで二、三千斤程度ということになる。殊に昨年の宝曆十三年(一七六三)は殊の外の不漁でわずか千五百斤程度の産出で、今年はやや増加二千六百斤程度産出したと報告している。なお次の資料は安政六年七月六日(一八五九)の仕切覚で、数量ばかりでなく、買上げの際の細又した雑費の内容がわかる。(一斤〇〇百六十匁)六〇〇

9)

- 住 切 覚
- 一 丹后田辺煎海鼠 拾七丸
- 右之内
- 一 六拾式斤六合七勺 残 引
- 正味式千式拾六斤三合三勺
- 三匁式厂式毛
- 代銀 六貫百拾九匁五分一厘
- 右之内
- 一 五匁意分 拾七丸 水揚買
- 一 三匁六分九厘 御役所にて庭入買
- 一 六匁三分 御同所まで駄買

江戸時代の竹屋町について

真 下 八 雄

城下町田辺の歴史的構造研究の手懸りとして、昨夏来、有志と共に竹屋町区有文書(竹屋町集会所保管)の調査を始め、史料目録の作成、若干史料の採集はしたが、町方史料の取扱いは初めての経験でもあり、まだ充分整理、分析をなして得ていないので、

極めておまかではあるが、一応、竹屋町の問題点と思われるものを特色として列挙し、今後の研究課題としたい。

- 一 拾式匁六分 仲士十八人酒手を遣す
- 一 八匁九分三厘 岩井屋へ右同断心得
- 一 三匁意分式厘 便番へ心附
- 一 三拾九匁七分四厘
- 差引残高 六貫七拾九匁七分七厘
- 右之通り買入仕切代銀相渡候処依而如件
- 安政六年未七月六日
- 御用帳物問屋 菅屋 伝兵衛
- 大坂屋半右衛門殿
- 明和元年から九十五年迄つた安政六年の産出高も式千斤程度で、あまり変化がないことがわかる。(未 完)

等多種多様であるが、彼らの中にこれらの職種を兼業する者が多く、また専業者にあつては、専門職・専門商への分化が非常に未熟である事にある。

この事を示す史料として、天保五年の「商売書上帳」の一部を引用したい。

- (略)
- 一、小間物太物瀬戸物青物干物荒物衣裳類貨物 扇 屋 市兵衛
- (略)
- 一、小間物太物瀬戸物荒物袋物仕立素廻職 長門屋 喜右衛門
- (略)
- 一、種桐呉油屋職并菓子職綿打職 壺 屋 幸 助
- (略)
- 一、種桐呉油職米穀荒物質屋職 油 屋 嘉左衛門
- (略)
- 一、旅籠屋職魚売買小鳥類 木 屋 義兵衛
- (略)
- 一、酒造塩職種桐呉売買穀物糸綿荒物船持 油 屋 吉兵衛
- 右の「商売書上帳」に記されては、竹屋町氏(一三九戸)各人の従事する商売数

の延総合計は四二四であるので、一戸当り平均三つの商売を経営している訳である。

第二の特色は、竹屋町の職業構成において、商業の占める割合が圧倒的に大きい事である。

いま前記の「商売書上帳」より、商業の分類方法にやや正確を欠く処があるけれども各商売別の延総業戸数を集計すると、第一表の如くである。この表中、商業に属する各商売別延総数は三二六戸で、これは全職業の商売別延総合計(四二四戸)の約七七％に当り、当町が優れて商業的機能を持った町である事が知られる。

第三の特色として、竹屋町は城下町の周辺地域との関係が密接であるという事を挙げたい。

- 前掲の「商売書上帳」中に「在通ひ」へ「小船在通ひ」小船小商」「官津商」「丹波通ひ」「丹波若州産物売買」等の行商または仲買と思われ諸商売があり、就中「在通ひ」「小船小商」等の在商い商人は町から衣類、小間物、陶器、金物等の日用雑貨や塩、魚、干物等の食料品を、領内在方よりは竹、竹皮、楮、雁皮、藍、桐葉、楮葉、生糸、苧、綿等の手工業原料や懸木(燃料)を売買して、城下町と農村との商

品流通の尖兵の役割をなしていたと考えられる。(第一表) また「丹波通ひ」商人は主として魚類を丹波北部の地方に行商していたものである。

尚「商売書上帳」より右の特色を示す史料の一部を紹介すると次の通りである。

- (略)
- 一、在通ひ荒物菓物苧綿竹皮 白杉屋 善次郎
- (略)
- 一、荒物在通ひ懸木苧綿葉藍薩摩実菓もの 大丹生屋 茂 七
- (略)
- 一、小船追懸在通ひ小商 野原屋 久兵衛
- (略)
- 一、小船在通ひ并荒物 平 屋 寛兵衛
- (略)
- 一、魚売買丹波通ひ 万 屋 嘉右衛門
- (略)
- 一、小船運賃積 油江屋 長兵衛
- (略)
- 一、小船小商 船 屋 勘右衛門
- (略)

一、在通の小船懸木売買

吉田屋 弥兵衛  
第四の特色は、竹屋町が城下町の中中央を貫流する高野川の川口に位置して、港町の機能果していた事である。

当町は、単に上記の在商の商人の活動によって領内産物の集散地であったにとどまらず、遠く他国各藩との交易港として、領国内の商品流通を全国経済圏に結合させる重要な接点であった。

一例を挙げれば、田辺に集荷された領内の産物(蠟)は、城下町の蠟燭職人によって生蠟に製造された後、「丹後蠟」の名のもとに北国廻船で羽越地方に輸送されており、(宮津市 加藤長助家文書)あるいはその反対に、庄内米・山形米・新川米・秋田米・新庄米等の出羽米が移入されている(竹屋町区有文書 寛政二年「御用諸事日記」)等である。

また、丹後地方の廻船業がまだ発達していなかった天明朝に、当町の町人は第二表の如く二百石積以下の大小帆船四九艘を所有して、日本海沿岸各地との貿易に活躍していたと思われる。

右の様に田辺藩における海運の根拠地であった竹屋町の高野川沿岸は、当然ながら

諸物産の納屋が軒を連ね、処々に船荷の積卸場、船小屋、船廻工場が点在する港町特有の景観をなしていた。後に示す文化六年の高野川々口略図(竹屋町寺内町長川筋絵図面——舞鶴市立西図書館蔵——より作成)がよくこれを物語っている。

(三)

以上、僅かな史料から近世における竹屋

測が許されるならば、近世初頭、細川氏による城下町建設において、「丹後旧語集」に「大手本町辺最初に築、平野屋町本町角の家山本屋又左衛門と云者町屋建初由、其後丹波屋嘉右衛門家近の地形築町屋建」と記されている事から考へると、竹屋町は本町等よりは比較的遅く町割されたと思われるが、けれど、江戸初期、商品流通の進展につれて、当町には、海港としての立

町の特徴を推し、に記したのであるが、当町のこの特色(特に第二、四は竹屋町成立の事情と深い関係があるのではなかろうか。もし、大胆な推

第1表 天保五年竹屋町商売別延戸数

商 業		326戸	
茶	34	石	21
草	52	鳥	54
皮	34	屋	23
竹	17	越	5
植	15	商	7
桐	15	い	
葉	15	い	
生	15	通	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	
煙	15	小	
竹	15	問	
植	15	魚	
桐	15	小	
葉	15	在	
生	15	領	
守	15	外	
綿	15	領	